

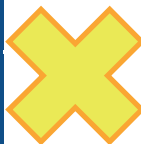
ひゅうが上下水道かわら版

★水道管も寒さ対策が必要です



水道管が凍ると大変です！！

- 水が出なくなります(凍結)
- 水道管が破裂し、修理が必要になります



水道管が凍りやすくなるのは・・・

気温が**-4℃以下**になるとき
【風当たりの強い場所では-1℃~-2℃】
屋外北側で、日が当たらない場所の
露出した水道管は特に注意が必要です

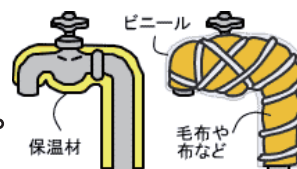
水道管の寒さ対策【凍結の予防策】

①じゃ口、水道メーター、給湯器などの露出した管は、発泡スチロール製などの保温材や、布類で覆って保温します。

保温材は、ホームセンター等で販売されています。

②長期間不在にする場合は、水道の元栓（止水栓）を閉めましょう。

不在の間、水道管が凍結破損した場合に漏水を防ぐことができます。



～～もし、水道管が凍結したら～～

- 水道管や水道メーターに直接熱湯をかけると破損する場合があります。
- 水道管を覆っている保温材を外して、タオルなどをあてて「ぬるま湯」をかけます。
- 凍ったじゃ口にも、タオルなどをあてて「ぬるま湯」をかけます。



～～もし、水道管が破裂したら～～

- あわてずに元栓（止水栓）を閉めます。
- 給水工事指定業者（市ホームページ参照）か、日向管工事協同組合（電話：52-2556）に修理を依頼しましょう。

水道メーターの検針にご協力をお願いします

水道メーターは、使用された水の量を正確に記録し、水道料金等を計算するために大切な役割を果たしています。正しい検針が出来るように適切な管理をお願いします。

次のような場合は、水道メーターの検針が出来ません。

～～検針が出来ない例～～

- メーターボックスの上に物を置いている。
- メーター付近に飼い犬を繋いでいる。
- メーターが土に埋もれている、草に覆われている。
- メーターの上に車を駐車している。



また、家の増改築などでメーターボックスが屋内や床下になるときは、検針しやすい場所に移してください。（費用は自己負担になります。）

正確かつスムーズな検針が出来るようにご協力をお願いします。